

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第23号

発行 / 社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
 〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜 24 番地 2
 鳴門市健康福祉交流センター2F
 TEL : 088-685-7170 FAX:088-686-4059
 HP : <http://www.narutoshi-shakyo.com>



認知症の方への理解を深める普及啓発活動



第8回市社協グラウンドゴルフ大会



鳴門市うずしお美術展



赤い羽根共同募金 街頭募金

もくじ

- ▶ 鳴門市総合防災訓練 ②
- ▶ 認知症の方への理解を深める普及啓発活動 ②
- ▶ 第8回市社協GG大会 ②
- ▶ 鳴門市うずしお美術展 ③
- ▶ 第66回徳島県社会福祉大会 ③
- ▶ 地域座談会 ③
- ▶ 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金 ④

令和4年度鳴門市総合防災訓練

令和4年9月1日(木)に令和4年度鳴門市総合防災訓練が実施され、本会は鳴門市健康福祉交流センターにおいて災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の開設・運営として参加しました。

「災害VCの設置及び運営等に関する協定書」が鳴門市と本会で本年5月に締結されてから初めての訓練参加となりました。

災害ボランティア役の方々に、近年の災害VCで利用されているクラウドサービスを使った災害ボランティア事前登録を訓練前日までに体験していただいた上での訓練となりました。当日は災害対策本部からの災害VCの開設依頼で訓練開始となり、災害ボランティアのQRコード受付を行った



後、オリエンテーションとして、動画の視聴と災害ボランティア活動について説明させていただきました。本会においても、密を避ける・クラウドサービスを使うという「新しい災害VCの開設・運営」について確認する良い

機会となりました。

認知症の方への理解を深める
普及啓発活動



令和4年9月21日

10月20日までの「徳島県認知症対策普及・啓発推進月間」に伴い、認知症になっても住み慣れたまちで安心して暮らしていけるよう、認知症への正しい理解を深めることを目的として、令和4年10

月8日(土)・9日(日)に鳴門市立図書館にて「認知症とも暮らそう」このまちで「鳴門」を開催しました。

2日間を通じて認知症についての図書紹介や認知症パネル展・相談ブースなど開設しました。また、大人から子どもまで認知症を学べるかるたあそび(サポくまのかるた)を通じて認知症の理解をより深めることが出来ました。さらに、9日には認知症サポーター養成講座も開催しました。



認知症に対する関心は非常に高く、多くの方にご参加いただきました。今後も認知症への理解促進、支援気運の高まりに繋がるようなイベントを予定しておりますので、ぜひご参加ください。

第8回市社協ラウンドゴルフ大会

令和4年11月2日

(水)に「第8回鳴門市社会福祉協議会ラウンドゴルフ大会」を鳴門・大塚スポーツパーク内第二陸上競技場で開催しました。当日は218名の参加があり、晴天にも恵まれ元気にプレーされました。



競技の結果は、次の通りです。(敬称略)

- Aブロック
- 優勝 朝 香 雅 行(大代長寿会)
 - 準優勝 寺 田 英 勝(黒崎和朗会)
 - 第3位 立 石 勇(大代長寿会)
- Bブロック
- 優勝 青 木 美 幸(黒崎和朗会)
 - 準優勝 吉 田 景 子(瀬戸Gクラブ)
 - 第3位 中 島 弘 子(大代長寿会)

鳴門市うずしお美術展

11月16日(水)～18日(金)に鳴門市うずしお美術展が鳴門市健康福祉交流センター2階ロビーで開催されました。

鳴門市内の60歳以上の高齢者の方から、日本画、洋画、工芸等92点の作品が展示されました。

今回は、映画上映会と同日に開催されたため、会場には、たくさんの方が鑑賞にこられ、盛会裏に終わりました。



第66回徳島県社会福祉大会

令和4年11月29日(火)に、あわぎんホールにて、第66回徳島県社会福祉大会が開催されました。依然として新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される状況であることから、被表彰者のみの参加となりました。鳴門市関係では次の方々々が表彰を受けられました。(敬称略・順不同)
名誉大会長表彰(知事表彰)

民生委員・児童委員功労者

船井 由美子

社会福祉事業功労者

松本 圭司 三木 俊仁

ボランティア功労者・団体

浅木 幸造 久保田 邦昭

鳴門第一中学校「ボランティア部」

撫養クラブ子ども教室

ボランティア川東 マドレの会

大会長表彰(徳島県社会福祉協議会会長表彰)

民生委員・児童委員功労者

泉 澄代 上田 照子

大熊 弘子

社会福祉事業功労者

岩瀬 健一郎 海 善昌子

勝田 利恵 櫻 木良江

武地 澄二 林 光子

森上 臣樹 柳 川隆弘

伊藤 理左 勝 浦香代子

ボランティア功労者・団体

上田 時松 上田 幸子

川東地区早起ラジオ体操会

NARUTOフラガール・プルメリア

ボランティア立岩会

自立生活の模範となる者

村上 みさ子

県共募会長表彰



地域座談会

現在、本会では第二期地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みを進めており、市社会福祉課とともに6月から11月にかけて市内14地区で各2回ずつの地域座談会を開催し、様々な立場の方から地域での活動や今後の展望などについてご意見をいただきました。



座談会では、地域での活動をする中で良くなったこともあるとの意見もありましたが、住民の高齢化や現役世代との意識格差、外出や買い物等の困難さ、災害時の対応など、今も多くの課題が残されていることや、コロナ禍の中で十分な活動ができなかったとの声も聞かれました。

計画には、皆さまからいただいた意見や要望をできるだけ取り入れて参ります。完成した際には皆さまにお知らせすることも様々なかたちで皆様にご覧いただけるようにしたいと考えています。

今後も地域の課題解決と地域福祉推進に向けて努めて参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 に皆様のご協力をお願いいたします

共同募金運動は、戦後間もない昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、今年で76回目を迎えております。皆様の温かいご支援・ご協力により、10月1日から「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに設定して運動を展開しておりますので、皆様方のおお一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、徳島県共同基金会を通じて、県内の民間福祉施設や社会福祉協議会に配分され、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障がいのある人や子どもたちが安心して生活できるように、地域の様々な福祉活動に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、地域の皆様のご共同募金への温かいご支援とご協力をお願いいたします。

共同募金は計画募金

共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等からの助成要望を取りまとめ、使いみちの計画（配分計画）を立ててから募金を行う「計画募金」です。この配分計画をもとにした募金目標に向けて運動が行われます。

鳴門市支部の募金運動計画

- ◇ 地域募金 …… ボランティアの皆さんが、町内会を通じて各世帯に呼びかけます。
- ◇ 街頭募金 …… 街角や人の集まる場所（店舗前など）で募金を呼びかけます。
- ◇ バッジ募金 …… 関係団体や官公庁、福祉施設等の職員に呼びかけます。
- ◇ 法人募金 …… ボランティアの皆さんが、企業を訪問して寄付を依頼します。
- ◇ 歳末たすけあい募金 …… 関係団体を中心に呼びかけます。

※歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環で、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を展開するものです。

街頭募金のご報告

10月3日に、キョーエイ鳴門駅前店様、マルナカパワーシティ鳴門店様のご協力により、店頭で街頭募金運動を実施させていただきました。鳴門市支部委員をはじめ、鳴門市議会議員の皆様、第二中学校様、鳴門中学校様など、多くのボランティアの方々にご協力いただき、募金額の合計は19,145円となりました。ご協力いただいた皆様方にお礼申し上げます。

キョーエイ鳴門駅前店様
9,458円

マルナカパワーシティ鳴門店様
9,687円

善意銀行にご協力をお願いします

皆さまの温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

善意銀行とは、市民の皆様の“善意の金銭や物品”を預託（寄付）していただき、それらを必要とする方や施設・団体などに払出し（活用）させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推進するための銀行です。地域の団体のおまつりやバザーでの収益金の一部、冠婚葬祭でのお祝いやお悔やみの一部と様々な形でご寄付いただいております。事前にボランティアセンターにご相談ください。

今後も皆さまの善意を地域福祉の推進に活かしていくため、ご協力をお願いいたします。